

第【 3 】学年 教科【 音楽 】 担当【 】

1 学習目標

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 使用教科書・教材

教科書 『中学音楽2・3下 音楽のおくりもの』『中学器楽 音楽のおくりもの』(教育出版)
副教材 『音楽のハーモニー2・3下』(正進社) 『MY SONG』(教育芸術社)

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容(教科書項目名)
1学期(4～7月)	花、荒城の月、ブルタバ、フィンランディア、展覧会の絵	・曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。歌うための発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。(花・荒城の月) ・音楽の構造・特徴、背景について理解する。曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わう。(ブルタバ)
2学期(8～12月)	合唱曲、オペラ アイダから、バレエ、歌舞伎「勸進帳」、文楽	・声部の役割を理解し、全体の響きなどを聴きながら他者と合わせて歌う技術を身に付け、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。(合唱曲) ・音楽の特徴、他の芸術との関わりを理解、味わう(オペラ アイダ、バレエ) ・我が国や郷土の伝統音楽の特徴を理解し、鑑賞する(歌舞伎「勸進帳」、文楽)
3学期(1～3月)	言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう(創作) 箏「もののけ姫」、卒業式の合唱曲	・箏の奏法を身に付ける(箏)・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら創作表現を創意工夫する(創作) ・曲想を味わいながら合わせて歌う(合唱曲)

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについての理解。創意工夫を生かした表現で歌ったり創作をするために必要な技能の習得。全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史等との関わりについての理解。箏の奏法の技能取得。	定期考査、練習の様子、実技テスト
思考・判断・表現	歌唱や創作に関わる知識や技能を得たり活かしたりしながら、歌唱や創作表現を創意工夫する。曲や演奏に対する評価とその根拠等について考え、音楽のよさや美しさを味わう。	定期考査、発言内容、提出物、実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	歌唱・器楽表現、ならびにそれらを創意工夫する学習や鑑賞の学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	授業・実技テストへの取り組み、提出物